

令和 8 年度 第 5 回旭地域会議 会議録

■日 時 令和 8 年 8 月 6 日（木） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 20 分

■場 所 旭支所 2 階 第 1 会議室

■出席者

＜委員 11 名＞

伊藤和夫（会長）、鈴木雄也（副会長）、安藤孝之、伊藤圭一、紀平純子、熊本ゆう子、鈴木好美、成瀬一、西田又紀二、森下正人、渡邊渚

＜事務局＞

杉本憲彦（支所長）、児嶋勇吾（副支所長）、中村大樹（担当長）、梅村祐子（担当長）、山岡千裕（主査）、平井一輝（主事）

＜傍聴人 3 名＞

■欠席者 青木富美雄、後藤美咲、成瀬初恵

1 開会

2 会長あいさつ

3 意見交換

（1）生活の中の交通（移動）を考えてみる～困りごとの原因は？～

4 地域会議に関する連絡調整事項

（1）地域会議日程について

5 支所長あいさつ

6 閉会

【内容】（要約）

1 開会

2 会長あいさつ

3 意見交換

（1）生活の中の交通（移動）を考えてみる～困りごとの原因は？～

事務局からの説明後、2 グループに分かれて委員同士で意見交換を実施した。

＜主な交通の目的別＞

【病院】

- ・高齢の独居の方は、地域バスや公共交通機関を利用している。ただ、行き先の病院によってはバスの乗り換えが上手いかず、1 時間待たなければいけない時もある。停留所は冬場寒く、高齢者が待つには辛い。

- ・住む地域によっては近くにバス停がなく、公共交通機関を利用したことのない地域もある。殆どは自分の車で移動している。
⇒免許返納者が今後増えると思われるが、その時にどうなっていくのか。
- ・高齢者の主要な移動手段は家族の送迎に頼っているのではないか。
- ・バスか自動車以外の選択肢がない。タクシーは来てくれない。
- ・ヘルスサポート養成講座などを活用して健康寿命を伸ばす取組をしつつ、高齢者の集まる場所をつくることで、ニーズの把握にもつながるのではないか。

【買い物】

- ・高齢者はメグリア便を利用したり、近隣の方が代わりに購入して来たりする。
⇒人によっては、自分で購入することを楽しみにしている人もいるので、代わりに買ってきてもらう事のみが良いわけではない。それぞれのニーズにあった方法がある。
- ・事前アンケートで希望がそれなりにある地域でメグリア便を行っていると思うが、実施するとそれほど利用する人はいない。
- ・買い物ができる商店街から中央広場のバス停までが高齢者には遠い。
- ・足助や明智など地区外へ移動したいというニーズが多い。
- ・高齢者がネット通販を使いこなせるよう、ECサイトの使い方の勉強会を開催してはどうか。
- ・スーパーの中を歩けない人もいる。(交通の問題ではない。)

【学校・習い事】

- ・子どもの送迎は、親がどこまでやれるのかで色々决定着ってしまう。地域バスの稼働時間も短く、部活等には利用ができない。
- ・免許のない高校生等が地域でバイトがしたくても、ちょうどよいバスがなく間に合わない。
- ・5～6年前までは部活の便があったがなくなってしまう、負担が増えた。
- ・高校生は毎朝、バス停や駅まで送迎の必要があり保護者の負担になっており、保護者がフルタイムで働けないなどの影響が出ている。
- ・敷島自治区の小中学生をスクールバスの対象にしてほしい。(歩いている横を空きがあるスクールバスが通過していく。)

【地域バス】

- ・予約時間・状況が見える化されていると、予約がしやすい。電話予約だけでは調整がしづらい。
- ・同じ方向の場合等、乗り合いで利用できるとよい。
- ・土日に行きがなく、休日の外出には使えない。

【その他】

- ・バスの運転手不足に対し、自動運転を導入できるといい。
- ・山村部では地域の人間関係や信頼関係で成り立っており、移動も支え合いや相乗りの仕組み（共助交通など）を作っておくことが必要ではないか。コロナで集まりが減って知り合いが作れていない。（信頼関係が薄れている。）
- ・地域の方を乗せていくことも、万が一の事故等を考えると個人で気軽に乗せていくことは難しい。乗降時にケガをされることも心配。
- ・車を持っていればバスには乗らない。イベントがあれば乗るのではないか。
- ・高齢者世帯で近くに身内がおらず、自力で出かけられない人が問題ではないか。

4 地域会議に関する連絡調整事項

（１）地域会議日程について

事務局からの説明後、日程の変更について承諾

5 支所長あいさつ

6 閉会

— 午後８時 20 分 令和 8 年度第 5 回旭地域会議終了 —

以上